

© MASCHINE

セットアップガイド



この説明書に含まれる情報は、予期せぬ変更を含み、Native Instruments GmbH の側で責任を代理するものではありません。この説明書によって記述されるソフトウェアはライセンス同意を必要とし、他の媒介に複製してはなりません。Native Instruments GmbH が事前に書面で許可しない限り、どのような目的においても、この出版物のいかなる部分も複製、複写、またはその他の方法での伝達や記録することは許されません。全ての製品・会社名は各所持者の登録商標です。加えて、これを読む人は、このソフトを正規に購入したものであるとします。お客様のおかげで私達はより良いツールを製作していくことが可能になるので、ここに謝辞を惜しむものではありません。

“Native Instruments”, “NI” and associated logos are (registered) trademarks of Native Instruments GmbH.

Mac, Mac OS, GarageBand, Logic, iTunes and iPod are registered trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Windows, Windows Vista and DirectSound are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

VST and Cubase are registered trademarks of Steinberg Media Technologies GmbH. ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.

RTAS and Pro Tools are registered trademarks of Avid Technology, Inc., or its subsidiaries or divisions.

All other trade marks are the property of their respective owners and use of them does not imply any affiliation with or endorsement by them.

著作・校正: David Gover

マニュアル翻訳: Akira Inagawa

ソフトウェアバージョン: 1.8 (07/2012)

製品の向上とバグ報告に関ったベータテスト参加者に特別な感謝をささげます。

Germany

Native Instruments GmbH
Schlesische Str. 29-30
D-10997 Berlin
Germany
www.native-instruments.de

USA

Native Instruments North America, Inc.
6725 Sunset Boulevard
5th Floor
Los Angeles, CA 90028
USA
www.native-instruments.com



© Native Instruments GmbH, 2012. 無断複写・転載を禁じます。

目次

1	MASCHINE へようこそ!	7
1.1	パッケージ内容	7
1.2	注意	7
1.3	注意	8
2	セットアップについて	9
3	ソフトウェアインストール	10
3.1	インストールの前に	10
3.2	Mac OS X へのインストール	10
3.2.1	インストールプログラムの起動	10
3.2.2	インストールするコンポーネントの選択	10
3.2.3	MASCHINE ライブラリのインストールパスの指定	12
3.2.4	ソフトウェアインストール作業の完了	13
3.3	Windows へのインストール	14
3.3.1	インストールプログラムの起動	14
3.3.2	インストールする各ソフトウェアフィーチャーの選択	14
3.3.3	アプリケーションフォルダを指定する	16
3.3.4	VST プラグインフォルダの指定	17
3.3.5	ライブラリの 保存先フォルダを指定する	18
3.3.6	インストールするハードウェアドライバの選択	19
3.3.7	インストール作業の終了	21
4	サービスセンターでの製品起動	22
4.1	オンライン製品起動	22

4.1.1	サービスセンターの起動	22
4.1.2	ユーザーアカウントへのログイン	23
4.1.3	製品を起動する	24
4.1.4	オンライン起動の終了	25
4.2	製品のアップデート	26
4.2.1	アップデートの選択	26
4.2.2	アップデートのダウンロード	27
4.2.3	ダウンロードフォルダーを開く	28
4.2.4	アップデートのインストール	29
4.3	製品のオフライン起動	29
4.3.1	オフライン起動の開始	30
4.3.2	起動リクエストファイルの作成	31
4.3.3	シリアルナンバーの入力	32
4.3.4	起動リクエストファイルを転送します。	33
4.3.5	起動リターンファイルを展開します。	34
4.3.6	オフライン起動の終了	35
5	MASCHINE コントローラーの接続	36
5.1	MASCHINE コントローラーをコンピュータに接続する	36
5.2	MIDI 機器を MASCHINE コントローラーに接続する	38
6	スタンドアローン操作	39
6.1	オーディオインターフェイスの選択	39
6.2	レイテンシーの最適化	40
6.3	ルーティングオーディオインプットとアウトプット	41

6.4	MIDI 接続設定	42
7	プラグインの操作	44
8	その他の資料とサポートリソース	45
8.1	各資料について	45
8.2	ビデオ・チュートリアル	45
8.3	ナレッジベース / リードミー / オンラインサポート	45
8.4	フォーラム	46
8.5	アップデート	46
9	製品の返品	47

1 MASCHINE へようこそ!

この資料では製品インストールの基本的な手順と製品アクティベーション、MASCHINE ハードウェアの接続方法、オーディオと MIDI の設定に関して解説します。このガイドを全て読み、内容を把握しておくことをお勧めいたします。



このガイドは MASCHINE 各製品 (MASCHINE と MASCHINE MIKRO) に関するガイドで、特に明示していない場合を除いては MASCHINE コントローラーに関して解説しています。各 MASCHINE コントローラーは同じソフトウェアを使用するので、このガイドでは MASCHINE ソフトウェアと明記します。

1.1 パッケージ内容

ボックスの内容は以下となっています。

- インストール DVD は MASCHINE インストールプログラムを含んでいます。
- **MASCHINE** シリアルナンバーは DVD ケースに記してあります。
- **MASCHINE / MASCHINE MIKRO** コントローラー
- **USB** ケーブル
- セットアップガイド

1.2 注意

MASCHINE コントローラー及び、接続してある他の機器の故障を防ぐ為に以下の項目を熟読、把握してください。

- MASCHINE コントローラーを開けて分解や内蔵部品を改造しないで下さい。MASCHINE コントローラーにはユーザー自身が修理可能な部品は含まれていません。機器が故障している場合は、使用を直ちにやめ、専門の業者にご相談ください。
- MASCHINE コントローラーを雨天で使用せず、及び水のある場所、湿気の多い場所での使用はしないでください。
- 機材の破損につながる物や液体をハードウェアに置いたり、かけたりしないでください。MASCHINE コントローラーを清掃する際には柔らかい乾燥した布を使用してください。シンナーや、ベンジン、洗剤等の薬液、又は薬液のしみこんだ清掃用布は使用しないでください。
- 異常高温状況下での MASCHINE コントローラーの使用、保管 (例、車内での直射日光に機器をさらす、または暖房器具に近接した状況下)、または振動の多い場所での使用、保管を避けてください。

- MASCHINE コントローラーを冷環境に放置した後は、室温で一定時間放置してください。
- MASCHINE コントローラーを落下の可能性がある場所に置かないでください。
- MASCHINE コントローラーを移動する際には、接続してあるケーブル類を全て外してから行ってください。
- MASCHINE コントローラーのボタン、ノブ、パッド部に過度の力をかけて使用しないでください。
- MASCHINE コントローラーの上に重いものを置かないでください。

1.3 注意

ネームプレートの位置

ネームプレートは製品の下部に表示してあります。ここでは製品モデル名称とその他の各情報が記載してあります。

シリアルナンバー

製品には 2 つのシリアルナンバーがあります。ハードウェアのシリアルナンバーはハードウェアの底部にあるネームプレートに記載してあります。ソフトウェアのシリアルナンバーは DVD ケースにあります。

製品の処分について

製品が修理不可能な状態になった場合、または製品を主文する場合は、お住まいの国が取り決めた法律に従って、電化製品の正規廃棄手順を取り廃棄してください。

仕様の変更について

これらの情報はこのマニュアルが印刷またはデジタル資料として出版されるまでの最新版です。しかしながら Native Instruments はこの製品に関するアップデートの権限を有し、製品の内容と本仕様書は予告なしに変更される場合があります。

免責事項

Native Instruments GmbH は MASCHINE / MASCHINE MIKRO コントローラー または MASCHINE ソフトウェアの改造、または間違った使用法によるデータ及び機器の各故障、紛失、破損に対し一切の責任を負いません。

2 セットアップについて

このセクションでは MASCHINE を起動するまでの各設定内容を簡潔に紹介し、その手順は ソフトウェアインストール、製品起動とアップデート、ハードウェアインストール、オーディオと **MIDI** の設定となり、各手順の詳細はこのガイドの各章で解説します。

- ソフトウェアインストール: インストールディスクを挿入し、セットアップファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。表示される内容に沿って、ライセンス認証し、必要な場合はパスワードを入力します (Mac OS X のみ)。
- 製品起動とアップデート: サービスセンターアプリケーションで製品をアクティベート(起動) します。この作業はオンライン、オフラインのどちらでも行うことが可能です。 サービスセンターアプリケーションを使用して最新のソフトウェアアップデートを行います。 その後ダウンロードフォルダでダウンロードした全てのアップデート内容をインストールします。
- ハードウェアインストール: MASCHINE コントローラーをコンピュータに接続します。
- **Audio** と **MIDI** 設定: MASCHINE の初回起動の際に、オーディオと MIDI の設定を行います。

3 ソフトウェアインストール

3.1 インストールの前に

インストールを始める前に、注意点をあげておきます。

- MASCHINE を新しく購入したコンピュータにインストールする場合等の為に、インストール用 **DVD** は安全な場所に保管してください。
- インストールスクリーンを注意深く読み、またハードディスク内に不必要なフォルダが作成されるのを防ぐ為にインストール先となるパスを十分に確認します。
- Native Instruments ソフトウェアに関係あるフォルダをインストール後に移動することは推奨しません。後に行われるソフトウェアアップデートは初期インストールの時点で使用したディレクトリを参照します。

3.2 Mac OS X へのインストール

デフォルトではインストール時に、このフォルダ内にいくつかのサブフォルダが設置されます。

Macintosh HD/Applications/Native Instruments/Maschine

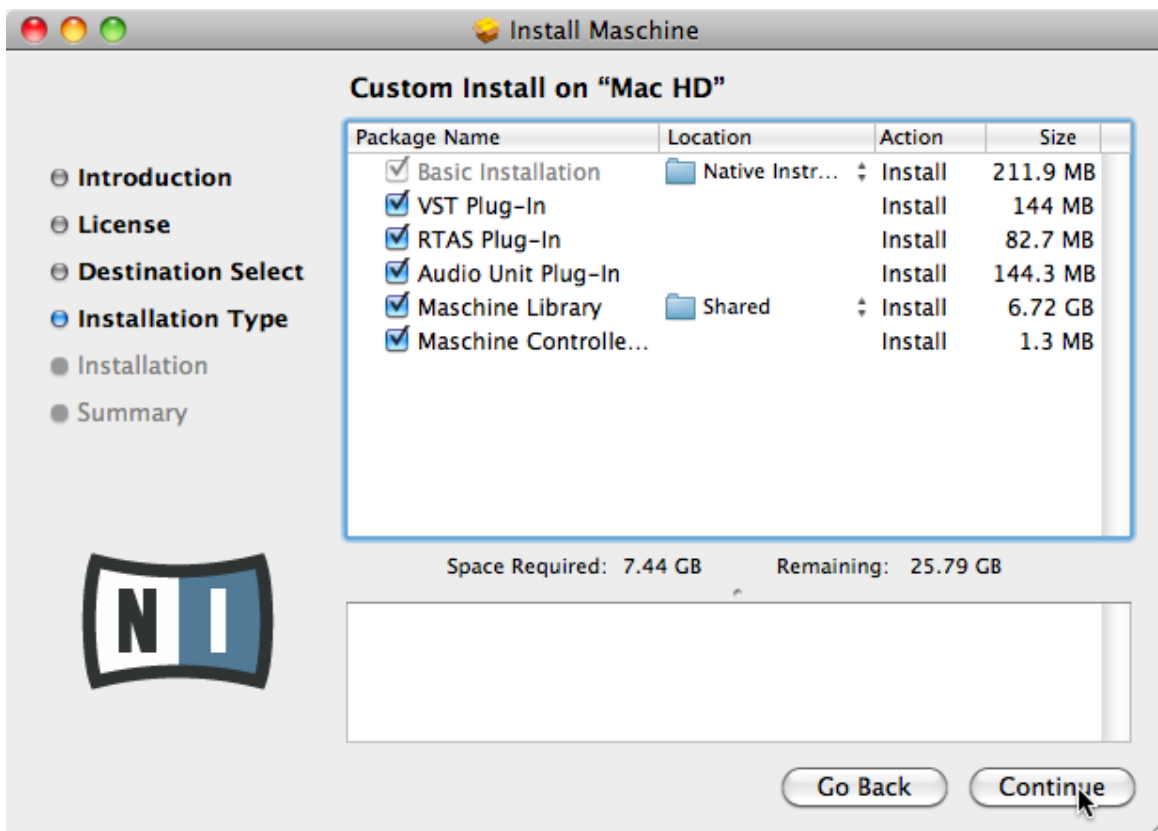
このインストールパスを使用することを強く推奨します。

3.2.1 インストールプログラムの起動

1. DVD ドライブにインストールディスクを挿入してください。
2. Mac OS X 上にインストール DVD アイコンが表示されたらダブルクリックします。
3. インストールディスクのファイル、**MASCHINE Installer Mac.mpkg** をダブルクリックしてインストールを始めます。
4. スクリーンで表示される手順に従ってください。

3.2.2 インストールするコンポーネントの選択

ソフトウェアライセンス内容に同意した後、インストーラーウィンドウがインストール可能なコンポーネントを表示します。



インストールプログラムのコンポーネント選択画面です。



選択解除する理由 (コンポーネントを既にインストールしてある等) が特にならない場合は、全てを選択したままにします。

Basic Installation: このインストールは MASCHINE ソフトウェアと、関連資料を含んでいます。 このインストールで MASCHINE の製品起動に必要な Service Center アプリケーションと本ソフトウェア以外を使用する際にコントローラーを使用する為のコントローラーの MIDI アサインを行うための Controller Editor アプリケーションをインストールします。

VST Plug-In, RTAS Plug-In, and Audio Unit Plug-In: インストールプラグインの種類 (VST、RTAS、Audio Unit) を指定します。 使用しているシーケンサーがサポートするプラグインの種類によって指定する内容を決めます。 Audio Unit は Logic、Live、Digital Performer、Garage Band 等の多くのシーケンサーで使用します。 VST は Cubase で使用し、RTAS は Pro Tools 専用です。 使用しているホストアプリケーションがどのプラグイン形式をサポートしているか不明な場合、全てを選択しておきます。

Maschine Library: このインストールで全インストールメントとサンプルを含む MASCHINE ファクトリーライブラリをインストールします。

Maschine Controller Driver: MASCHINE コントローラードライバをインストールします。



ソフトウェアはデフォルトロケーションにインストールすることを強く推奨します。 インストール場所を変更するには、[ロケーション\(Location\)](#) 欄のフォルダアイコンをクリックします。

- ▶ インストール設定を行った後、[Continue](#) (続行、続ける) をクリックして表示される内容に従ってください。

3.2.3 MASCHINE ライブラリのインストールパスの指定

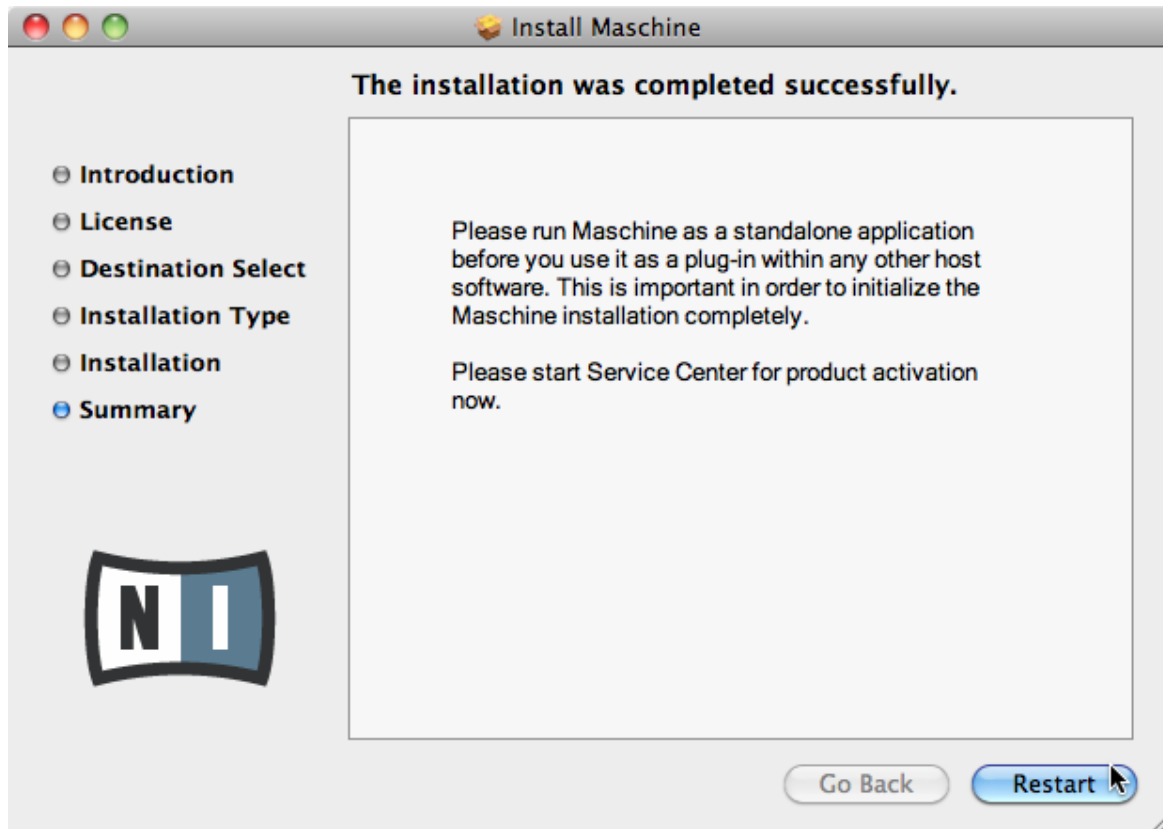
次のスクリーンで MASCHINE ファクトリーライブラリ保存先となるフォルダ、またはハードディスクを選択します。



ライブラリ用に使用するハードディスクスペースが大きいので、インストール場所を指定する際はディスクスペースを確認してください。 最適なパフォーマンスの為に専用ハードディスクにインストールすることを推奨します。

- ▶ インストール設定を行った後、[Continue](#) (続行、続ける) をクリックして表示される内容に従ってください。

3.2.4 ソフトウェアインストール作業の完了



インストールプログラムの最終画面です。

- ▶ インストールプログラムの最後の画面で、[Restart](#) (再起動) をクリックしてコンピュータを再起動し、インストール作業を完了します。

- ▶ コンピュータが再起動したら、サービスセンターを使用して MASCHINE ソフトウェアを使用可能な状態にします (本セットアップガイドの [↑4, サービスセンターでの製品起動](#) 章参照)。



MASCHINE ソフトウェアの起動直後は、まず MASCHINE をスタンドアローンモードで起動してください。この作業は MASCHINE インストール作業を完全に終了する為に必ず行ってください。

3.3 Windows へのインストール

デフォルトではインストール時に、このフォルダ内にいくつかのサブフォルダが設置されます。

C:\Program Files\Native Instruments\Maschine

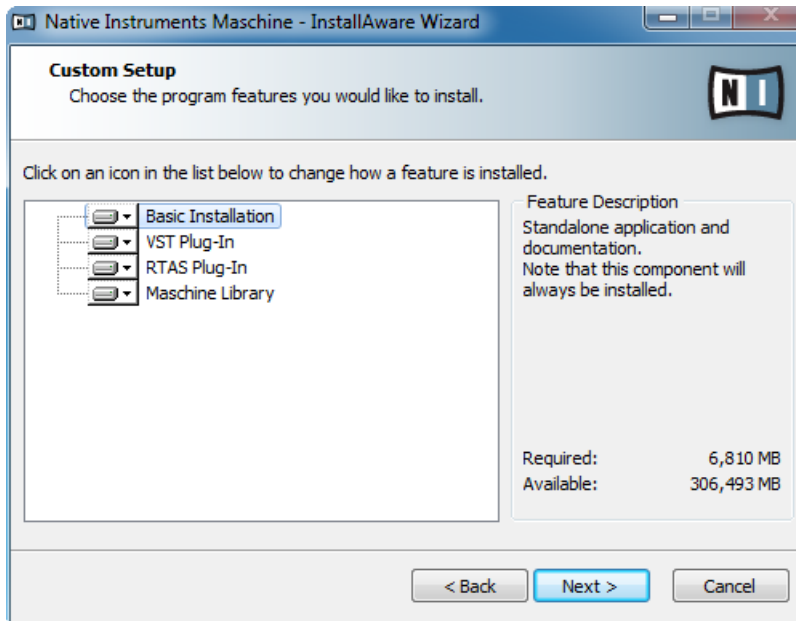
このインストールパスを使用することを強く推奨します。

3.3.1 インストールプログラムの起動

1. DVD ドライブにインストールディスクを挿入してください。
2. Windows Explorer 上にインストール DVD アイコンが表示されたらダブルクリックします。
3. DVD の **MASCHINE Setup PC.exe** ファイルをダブルクリックしてインストール作業を開始します。
4. スクリーンで表示される手順に従ってください。

3.3.2 インストールする各ソフトウェアフィーチャーの選択

ソフトウェアライセンス内容に同意した後、インストーラーウィンドウがインストール可能なコンポーネントを表示します。



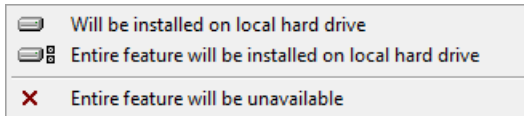
インストールプログラムのコンポーネント選択画面です。

Basic Installation: このインストールは MASCHINE ソフトウェアと、関連資料を含んでいます。このインストールで MASCHINE の製品起動に必要な Service Center アプリケーションと本ソフトウェア以外を使用する際にコントローラーを使用する為のコントローラーの MIDI アサインを行うための Controller Editor アプリケーションをインストールします。

VST Plug-In and RTAS Plug-In: インストールプラグインの種類 (VST、RTAS) を指定します。使用しているシーケンサーがサポートするプラグインの種類によって指定する内容を決めます。VST は例えば Cubase で使用し、RTAS は Pro Tools 専用です。使用しているホストアプリケーションがどのプラグイン形式をサポートしているか不明な場合、全てを選択しておきます。

Maschine Library: このインストールで全インストールメントとサンプルを含む MASCHINE ファクトリーライブラリをインストールします。

- ▶ 各内容の選択を解除するには、各インストール内容の横にあるハードディスクアイコンをクリックして *Entire feature will be unavailable* を選択します。

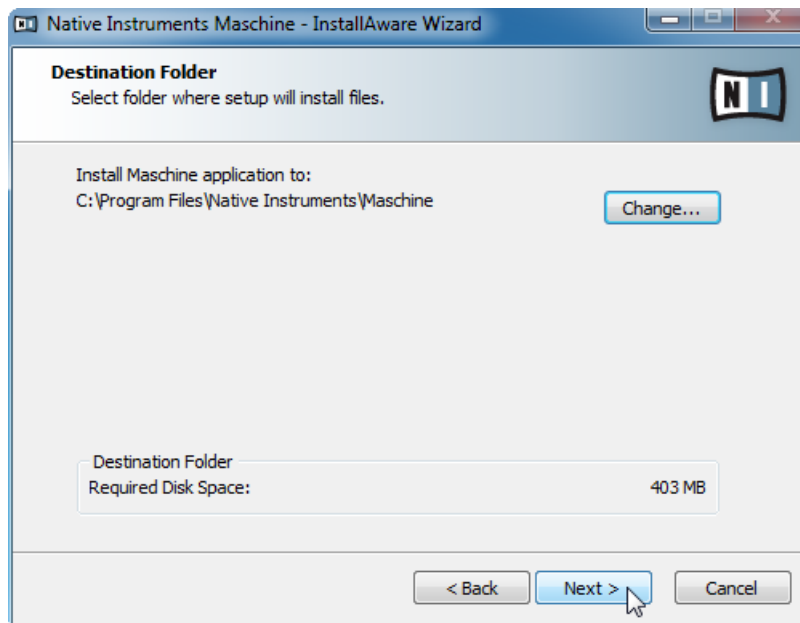


- ▶ インストールするプラグインの種類を指定することも可能です。VSTは Cubase、Sonar、Live 等多くのシーケンサーで使用可能で、RTASは Pro Tools 専用です。



Service Center アプリケーションは製品起動の際に必要で、最新または同じバージョンのアプリケーションがインストール済みである場合以外、インストールします。

3.3.3 アプリケーションフォルダを指定する



インストールプログラムのソフトウェアインストールパス画面です。

インストール時に、MASCHINE ソフトウェアをどこにインストールするか選択指定します。この画面に続いて MASCHINE ライブラリとプラグインのインストールパスを指定する画面が表示されます。



MASCHINE ソフトウェアはデフォルトロケーションにインストールすることを強く推奨します。インストール場所を変更する場合は、[Change...](#) をクリックしてフォルダ選択ダイアログを表示し、インストール先を指定します。

▶ [Next](#) (次) をクリックして次に進みます。

3.3.4 VST プラグインフォルダの指定

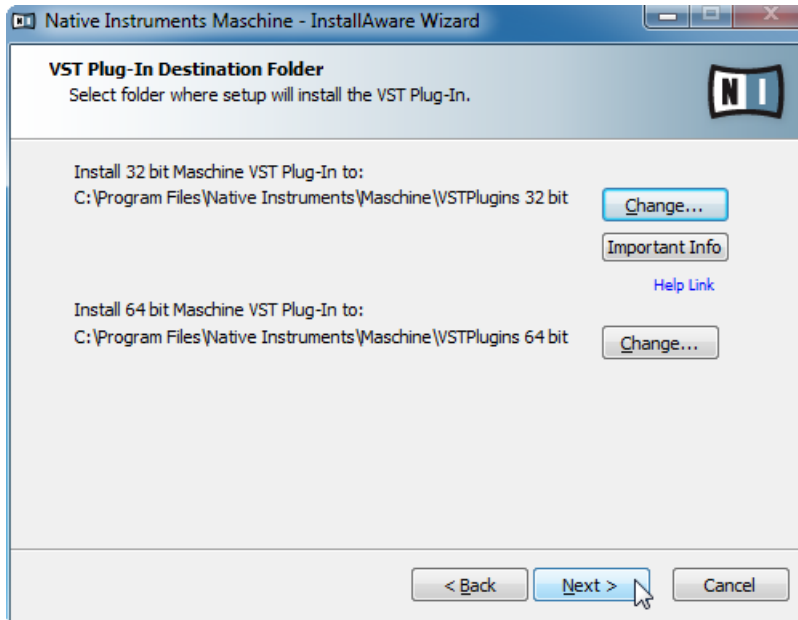
VST プラグインをインストールする場合は、この画面で使用しているコンピュータの VST プラグインのパスを設定することができます。32-ビットバージョンの Windows を使用している場合、指定できるパスは一つとなります。64-ビットバージョンの Windows を使用している場合は、32-ビット/64-ビット各バージョンのプラグインをインストールする場所を指定することが可能となります。



32-ビットと 64-ビット各プラグイン用フォルダは区別してください。



使用しているコンピュータに第三者製のプラグインをインストールしている場合は、Native Instruments プラグインのインストールディレクトリもこれに合わせて同じ場所を指定してください。またホストソフトウェアで設定したデフォルト VST プラグインパスもチェックしてください。ホストソフトウェアがインストールしたプラグインを検出する為には、ここでは同じパスを選択する必要があります。



インストールプログラムのプラグインフォルダ選択画面です。

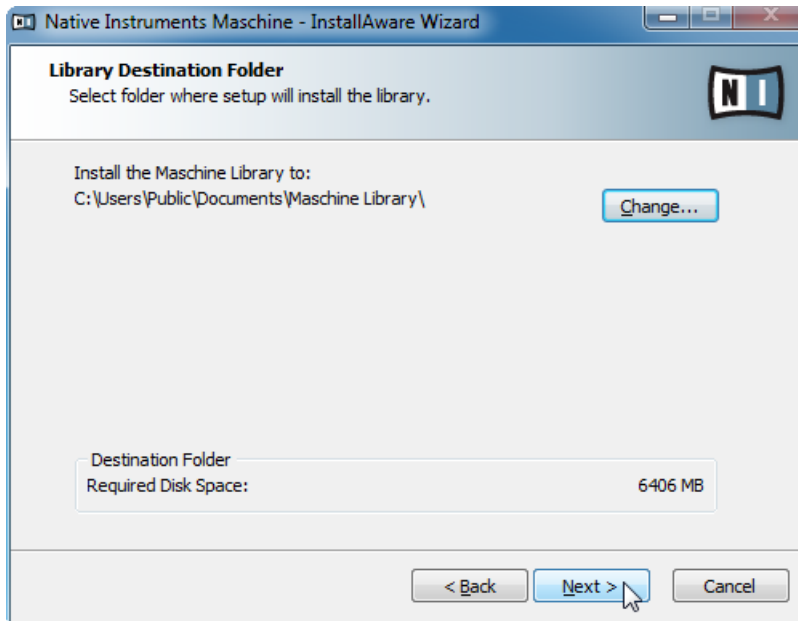
3.3.5 ライブラリの 保存先フォルダを指定する

次のスクリーンで MASCHINE ファクトリーライブラリ保存先となるフォルダ、またはハードディスクを選択します。



ライブラリ用に使用するハードディスクスペースが大きいので、インストール場所を指定する際はディスクスペースを確認してください。最適なパフォーマンスの為に専用ハードディスクにインストールすることを推奨します。

- ▶ 他のハードディスクにサウンドライブラリをインストールするには [Change...](#) をクリックして任意の場所を指定します。

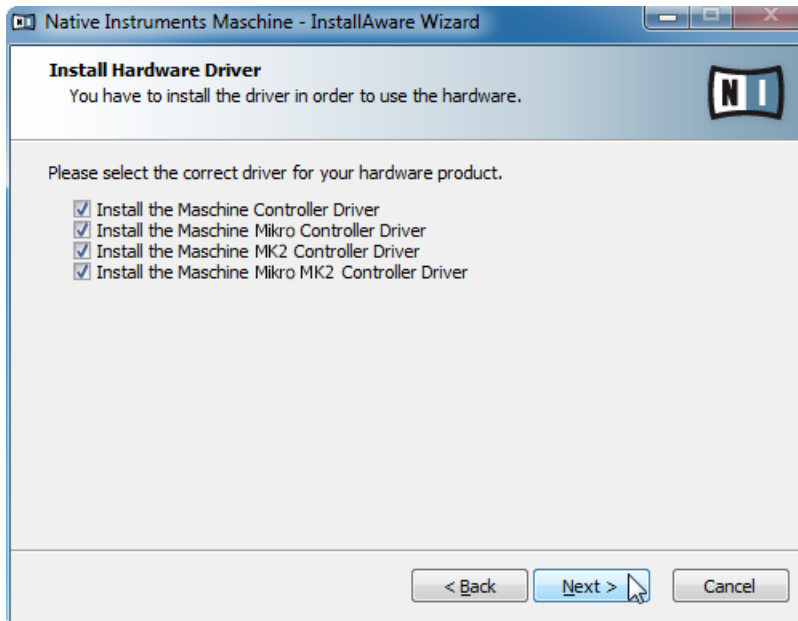


インストールプログラムのライブラリフォルダインストール先を選択する画面です。

- ▶ インストール設定を行った後、**Next** をクリックして表示される内容に従ってください。

3.3.6 インストールするハードウェアドライバの選択

次のスクリーンで MASCHINE コントローラー用ハードウェアドライバを選択します。



インストールプログラムのハードウェアドライバ選択画面です。

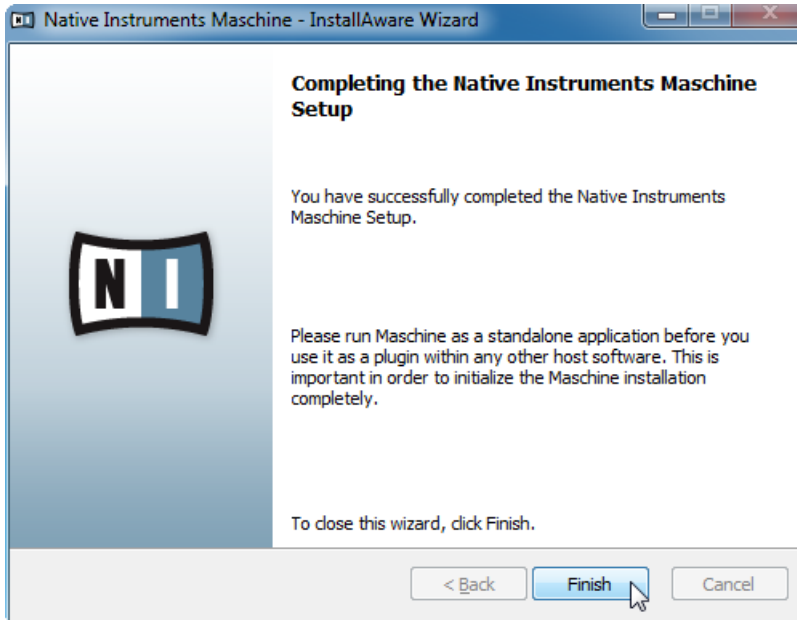
Install the MASCHINE Controller Driver: MASCHINE コントローラー用ドライバをインストールします。

Install the MASCHINE MIKRO Controller Driver: MASCHINE MIKRO コントローラー用ドライバをインストールします。

Install the MASCHINE MK2 Controller Driver: MASCHINE MK2 コントローラー用ドライバをインストールします。

Install the MASCHINE MIKRO MK2 Controller Driver: MASCHINE MIKRO MK2 コントローラー用ドライバをインストールします。

3.3.7 インストール作業の終了



インストールプログラムの最終画面です。

- ▶ インストールプログラムの最後のスクリーンで [Run Service Center for product activation now](#) をチェックしてサービスセンターを自動的に起動します。その後 [Finish](#) をクリックしてインストールを終了します。
- ▶ インストールが終わると、サービスセンターアプリケーションが起動します。セットアップガイドの [↑4, サービスセンターでの製品起動](#) 章で解説する内容に沿って、サービスセンターで製品起動をしてください。



MASCHINE ソフトウェアの起動直後は、まず MASCHINE をスタンドアローンモードで起動してください。この作業は MASCHINE インストール作業を完全に終了する為に必ず行ってください。

4 サービスセンターでの製品起動



この章では全スクリーンショットで (*NI Product*) 名称を便宜上使用します。各スクリーンの関係セクションでは起動する Native Instruments 社製品名で表示します。

4.1 オンライン製品起動



使用しているコンピュータをインターネットに接続していない場合は、セクション [↑4.3, 製品のオフライン起動](#) に進んでください。

4.1.1 サービスセンターの起動


1. ハードディスク内でサービスセンターアプリケーションを見つけてください。インストールの際に、**Native Instruments** フォルダが Program Files (Windows) / Applications (Mac OS X) フォルダ内に作成されているはずです。このフォルダ内に、**Service Center** という名称のサブフォルダがあるので、そこでサービスセンターアプリケーションを起動します。
2. サービスセンターアプリケーションをダブルクリックし、製品起動を開始します。



Native Instruments の全機能を使用するには製品起動が必要です。

4.1.2 ユーザーアカウントへのログイン

SERVICE CENTER



Log in

Please log in using your e-mail address and password.


E-mail address

Password

☐ Log me in automatically on next startup

▶ Forgot your password?

▶ Create new User Account

 Log in

Status:
Online

サービスセンターのログインスクリーンです。

- ▶ メールアドレスと Native Instruments パスワードを入力してログインします。
- ▶ Native Instruments アカウントを持っていない場合は、[Create new User Account](#) (新規ユーザーアカウント作成) をクリックします。アドレスフォームに記入してください。パスワードは電子メールで送信されます。

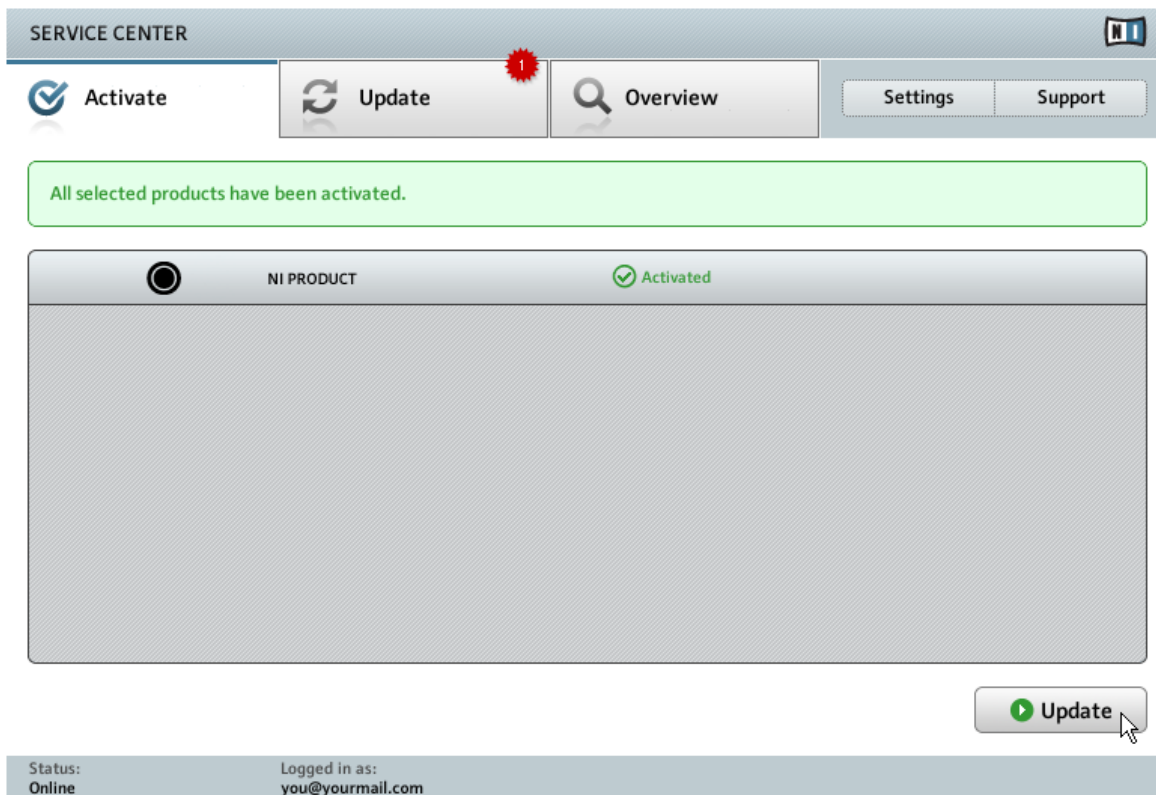
4.1.3 製品を起動する

The screenshot shows the 'SERVICE CENTER' interface. At the top, there is a navigation bar with buttons for 'Activate' (highlighted with a blue checkmark), 'Update', 'Overview', 'Settings', and 'Support'. Below this is a yellow instruction box that reads: 'Enter the serial numbers for the products you want to activate.' The main area contains a window titled 'NI PRODUCT' with a header bar showing a power button icon, the text 'NI PRODUCT', and several icons including a network icon, a USB icon, a document icon, and a 'Test' button. The main content area of the window is a large, empty gray rectangle. At the bottom right of the main area, there is a green 'Activate' button with a checkmark icon. The bottom status bar shows 'Status: Online' and 'Logged in as: you@yourmail.com'.

サービスセンターでの製品起動スクリーンです。

1. 番号入力欄にシリアルナンバーを入力してください。シリアルナンバーは DVD ケースに記載してあります。
2. アクティベート (Activate) をクリックします。

4.1.4 オンライン起動の終了



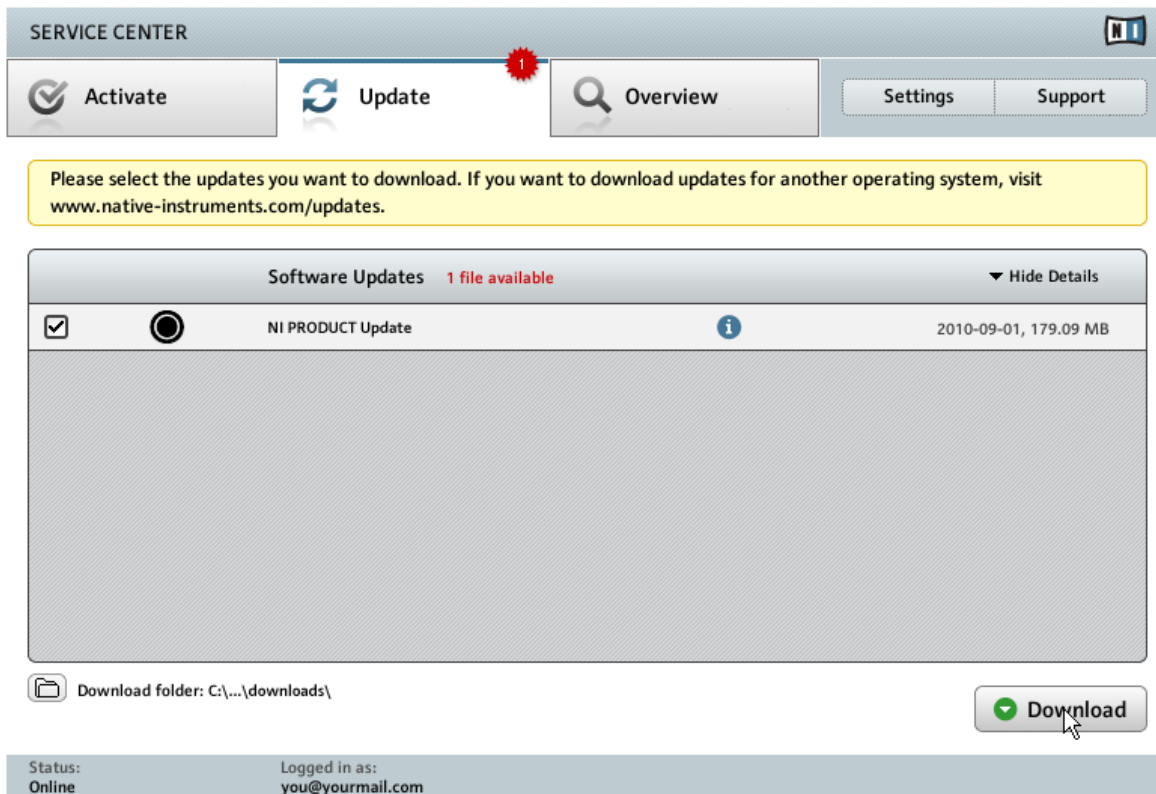
サービスセンターで製品起動を行います。

サービスセンターが製品の起動処理に成功しているか確認します。 アップデート有無の確認作業が自動的に始まります。

- 起動している製品のどれかにアップデートがある場合は、右下に[アップデート](#)ボタンが表示されます。 アップデートをダウンロードするには[アップデート](#)ボタンをクリックしてセクション [↑ 4.2, 製品のアップデート](#)に進んでください。
- アップデートがない場合は、右下に [Exit](#) ボタンが表示されます。 クリックしてサービスセンターを終了します。

4.2 製品のアップデート

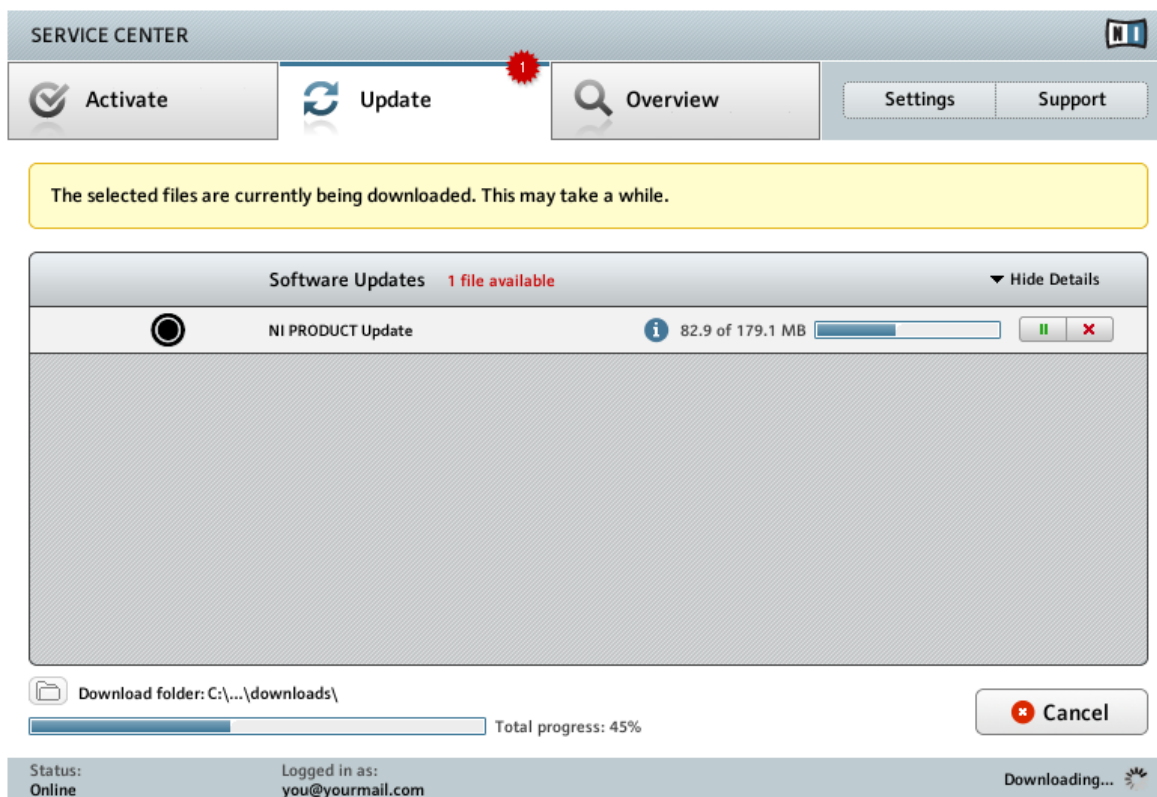
4.2.1 アップデートの選択



サービスセンターの製品アップデートスクリーンです。

1. Service Center を起動し、**アップデート (Update)** タブをクリックし、更新可能なアップデート情報を確認します。
2. 左側にあるチェックボックスでダウンロードするアップデートを選択します。自動チェックされているアップデート内容はダウンロードすることをお勧めします。
3. **ダウンロード**をクリックします。ダウンロードがスタートします。

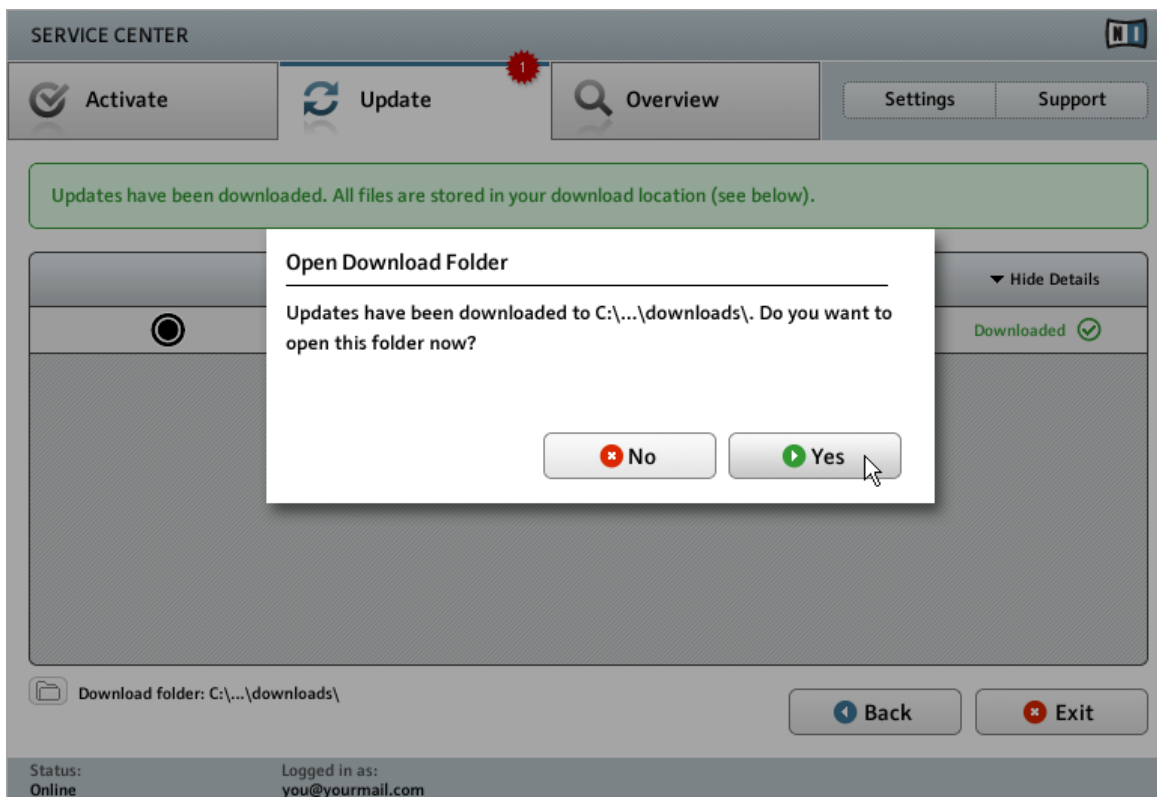
4.2.2 アップデートのダウンロード



製品アップデートを実行中です。

ファイルサイズとインターネットの処理速度によってダウンロードに時間がかかる場合があります。最新のアップデートを常時更新することを強くお勧めします。

4.2.3 ダウンロードフォルダーを開く



Service Center が全てのアップデートがダウンロードされたことを確認し、ダウンロードフォルダを開くよう促します。

全てのファイルのダウンロードが正常に完了すると、ダウンロードフォルダを展開する確認画面が表示されます。

- ▶ **Yes** (はい) をクリックしてダウンロードフォルダを開きます。

- ▶ ダウンロードフォルダを開いたら、Exit (終了) をクリックしてサービスセンターを終了してもよいでしょう。

4.2.4 アップデートのインストール

1. ダウンロードフォルダから最初のインストーラーを立ち上げます。
2. インストールウィザードの指示に従ってください。
3. 全てのアップデートのインストールを同様の手順で行います。



MASCHINE ソフトウェアの起動直後は、まず MASCHINE をスタンドアローンモードで起動してください。この作業は MASCHINE インストール作業を完全に終了する為に必ず行ってください。

4.3 製品のオフライン起動

Native Instruments 製品を使用するコンピュータがインターネットに接続していない場合はオフライン起動による製品起動を行います。この場合、インターネットに接続してある 2 台目のコンピュータが必要です。

4.3.1 オフライン起動の開始

SERVICE CENTER

Internet connection

Service Center was unable to establish an internet connection. How do you wish to proceed?

Try connecting to the internet again

Make sure that your computer is connected to the internet.

Retry

Use a proxy server to connect to the internet

Host

Port

Proxy

Continue without connecting to the internet

Please note: You will have to transfer an Activation Request File to a computer with internet access.

Offline


Status:
Pending...


サービスセンターのインターネット接続スクリーンです。


1. サービスセンターを起動します。 インターネットコネクションが検出されない場合、上のインターネット接続 画面に戻ります。
2. スクリーン下部のインターネット接続はしないで続けるでオフラインをクリックします。 すると次のアクティベート (Activate) 画面に移動します。


4.3.2 起動リクエストファイルの作成

SERVICE CENTER



 Activate

 Update

 Overview

Settings

Support

You have to complete three steps to do an Offline Activation.

1.

Create Activation Request File

Enter serial numbers and save the Activation Request File to a portable storage device, e. g. an USB stick.

Create

2.

Transfer File to Internet Computer

Take the Activation Request File to a computer with internet access and open it on that computer. This will load the Native Instruments Registration web page.

3.

Open Activation Return File

Copy the Activation Return File returned by the Native Instruments web server to a portable storage device and open it on the computer that you want to activate the product on.

Open

Status:
Offline

サービスセンターのオフライン製品起動スクリーンです。

- ▶ 起動スクリーン上で作成 (Create) をクリックします。起動 (アクティベート) スクリーンではシリアルナンバー入力画面が表示されます。

4.3.3 シリアルナンバーの入力

SERVICE CENTER

Activate Update Overview Settings Support

Enter the serial numbers for the products you want to activate.

NI PRODUCT

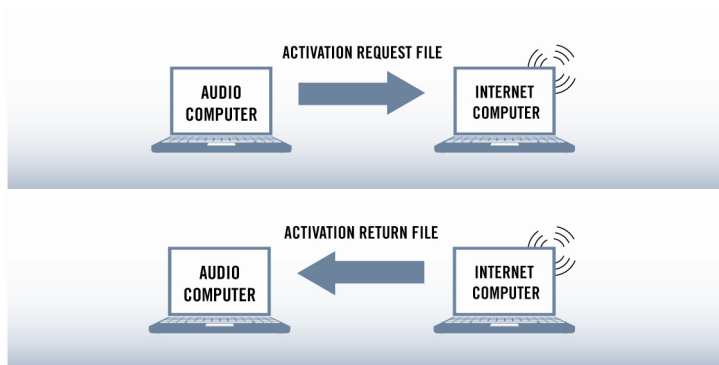
Back Create

Status:
Offline

サービスセンターでの製品起動スクリーンです。

1. 番号入力欄にシリアルナンバーを入力してください。シリアルナンバーは DVD ケースに記載してあります。
2. [作成する](#)をクリックして起動リクエストファイル (ActivationRequestFile.html) を保存します。Save File ダイアログが開き、そこでフォルダを指定します。
3. 起動リクエストファイルを指定したフォルダに保存します。

4.3.4 起動リクエストファイルを転送します。





オフライン起動を実行します。


1. 起動リクエストファイルを USB スティック等の簡易データ保管機器にコピーし、インターネット接続環境を備えたコンピュータへとデータ転送します。
2. 起動リクエストファイルをダブルクリック、展開します。
3. サービスセンター製品起動ウェブページでの手順に従ってください。新規 Native Instruments ユーザーである場合は、ログイン前に新規アカウントを作成する必要があります。
4. 起動リターンファイルを音楽製作に使用しているコンピュータに転送してください。


4.3.5 起動リターンファイルを展開します。

SERVICE CENTER



 Activate

 Update

 Overview

Settings

Support

You have to complete three steps to do an Offline Activation.

1.

Create Activation Request File

Enter serial numbers and save the Activation Request File to a portable storage device, e. g. an USB stick.

Create

2.

Transfer File to Internet Computer

Take the Activation Request File to a computer with internet access and open it on that computer. This will load the Native Instruments Registration web page.

3.

Open Activation Return File

Copy the Activation Return File returned by the Native Instruments web server to a portable storage device and open it on the computer that you want to activate the product on.

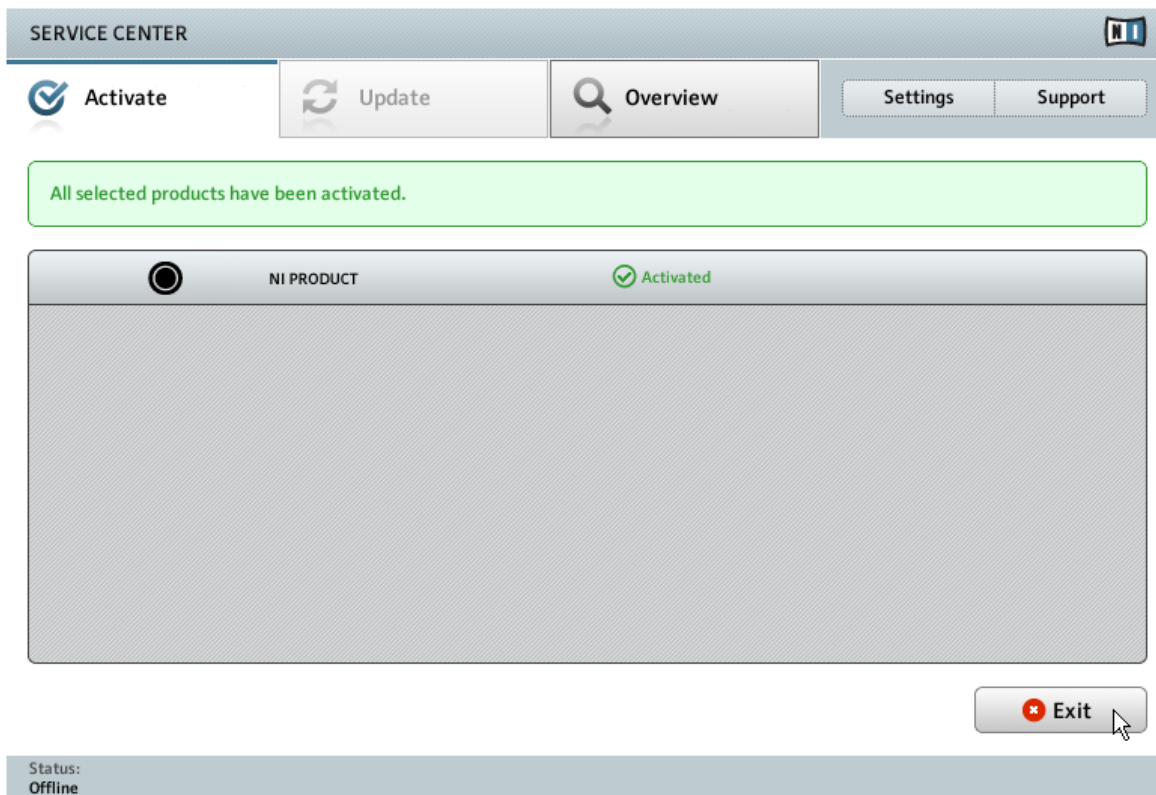
Open

Status:
Offline

サービスセンターのオフライン製品起動スクリーンです。

1. 音楽製作に使用しているコンピュータで、サービスセンターを再度起動してください。スクリーン下部のインターネット接続はしないで続けるでオフラインをクリックします。
2. 起動タブを選択し、開く (Open) をクリックし、起動リターンファイル (Activation Return File) をロードします。

4.3.6 オフライン起動の終了



サービスセンターで製品起動を行います。

起動リターンファイルを開いた後、サービスセンターは製品の起動処理に成功しているか確認作業を行います。ここまですれば、Exit (終了) をクリックしてサービスセンターを終了してもよいでしょう。



製品アップデートを取得するには <http://www.native-instruments.com/updates> で Native Instruments ユーザーアカウントにログインします。インターネットに接続してあるコンピュータから Personal Update Manager を用いて関連するアップデートを全てダウンロードし、簡易保存メディアを使用して音楽用コンピュータにインストールします。

5 MASCHINE コントローラーの接続

この章では基本的なハードウェアの設定方法を紹介します。詳細は MASCHINE ドキュメントフォルダにある MASCHINE / MASCHINE MIKRO マニュアルを参照してください。

- ▶ コントローラーをコンピュータに接続する際には MASCHINE ソフトウェアと MASCHINE ハードウェアドライバのインストール内容が最新のものであるか確認してください。確認方法は [↑3, ソフトウェアインストール](#) 章を参照してください。

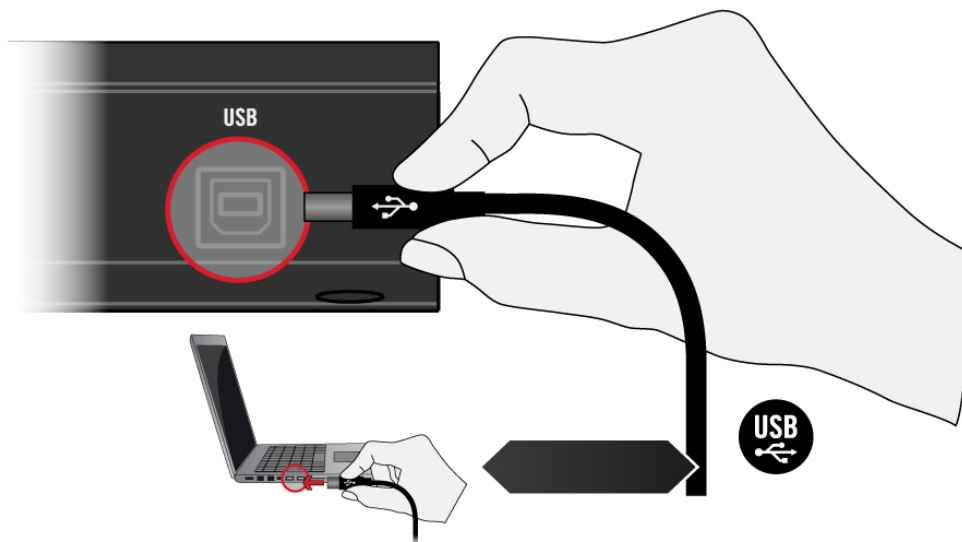


このガイドは MASCHINE 各製品 (MASCHINE MK2 と MASCHINE MIKRO MK2) に関するガイドで、特に明示していない場合を除いては MASCHINE コントローラーに関して解説しています。全 MASCHINE コントローラーは同じソフトウェアを使用するので、このガイドでは MASCHINE ソフトウェアと明記します。

5.1 MASCHINE コントローラーをコンピュータに接続する

MASCHINE コントローラーをコンピュータに接続する方法は以下です。

1. USB ケーブルの機器用端子を MASCHINE のリアパネルにある USB ソケットに接続します。
2. USB ケーブルのコンピュータ接続用端子をコンピュータの USB 2.0 以降のポートに接続します。



MASCHINE コントローラーをコンピュータに接続する



MASCHINE コントローラーは USB 1.1 ポートに接続した場合機能しません。USB 2.0 以降のポートを使用してください。



(Windows ユーザーへの情報です) ソフトウェアとハードウェア用ドライバのインストール後でも、コントローラーがコンピュータに認識されない場合は、作業を続ける前に USB ケーブルを他の USB ポートに接続してください。

5.2 MIDI 機器を MASCHINE コントローラーに接続する



MASCHINE コントローラーの後ろにある MIDI ポートです。

USB の他にも、MASCHINE コントローラーには MIDI ポートがあり、他の MIDI 機器を 5-ピンの MIDI ケーブルを用いて直接接続することが可能です。例えば MIDI キーボードを MIDI In 端子に接続することで MASCHINE ソフトウェアで選択している音色を演奏することが可能となります。



MASCHINE MIKRO コントローラーに MIDI ポートはありません。USB 接続と Controller Editor ソフトウェアの設定を行い MIDI コントローラーとして使用することは可能です。

MIDI のコントロール

MASCHINE コントローラーで専用 MASCHINE ソフトウェアを使用する他にも、本ハードウェアを USB を介してコンピュータに接続し、非常に強力な MIDI コントローラーとして MIDI の使用が可能なソフトウェアアプリケーション、機器を操作することが可能です。この操作を可能にするためには、コントローラーエディタ (Controller Editor) ソフトウェアを使用して MASCHINE コントローラーの正確な MIDI アサインを行うことが必要です。コントローラーエディタは MASCHINE インストールの過程でインストールされます。詳細を確認するには、ハードディスク内のコントローラーエディターインストールフォルダ内のサブフォルダ、Documentation にある Controller Editor Manual (PDF) を参照してください。

6 スタンドアローン操作

インストールディレクトリから MASCHINE ソフトウェアを開く場合、他のアプリケーションと同様に、アプリケーションメニューを供えたスタンドアローンモードで起動します。

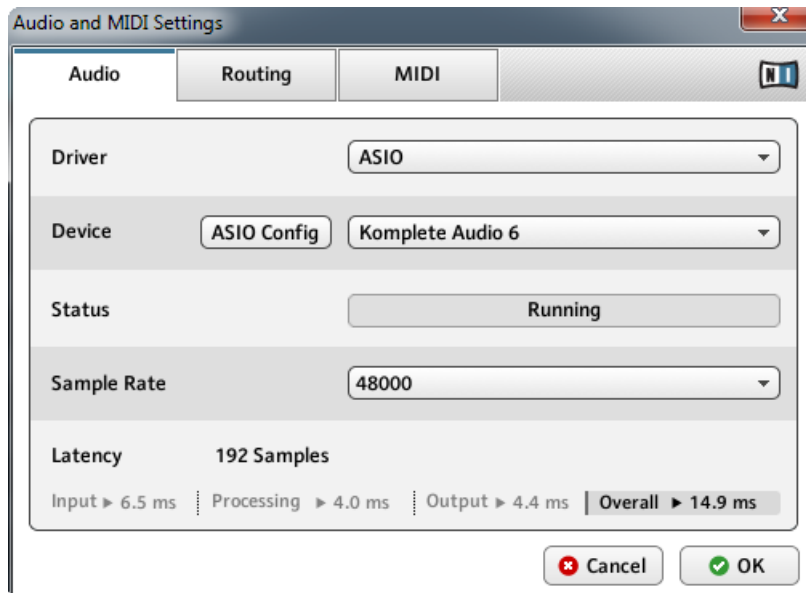
Audio and MIDI Settings ダイアログ

MASCHINE の初回起動の際には、まずオーディオと MIDI の設定を行う必要があります。アプリケーションがキーボードから MIDI ノートを受信し、オーディオインターフェイスからサウンドを発音するには、どのオーディオと MIDI ハードウェアを使用するか指定する必要があります。この設定は初期起動の際に自動的に表示される **Audio and MIDI Settings** ダイアログで行います。



このダイアログは [File](#) メニューで *Audio and MIDI Settings...* をクリックすることでいつでも表示可能です。Mac OS X では、メインアプリケーションメニューの *Preferences...* にあります。

6.1 オーディオインターフェイスの選択



オーディオと MIDI 設定ダイアログの [Audio](#) ページです。

Audio and MIDI Settings ダイアログの [Audio](#) ページでアプリケーション音声の再生と、再生音量を調節する為のオーディオデバイスを指定します。ダイアログには以下のオプションがあります。

- **Driver:** このドロップダウンメニューでアプリケーションが使用するシステム内のデバイスドライバを選択します。以下はオーディオドライバの一般的な形式と特徴のリストです。
 - *Core Audio:* Mac OS X 専用です。素早い反応が特徴です。
 - *ASIO:* Windows 推奨ドライバです。リアルタイムオーディオアプリケーションと高速パフォーマンス用に設計されています。このタイプのドライバーは殆どのプロ使用のオーディオデバイスに実装してあります。
 - *WASAP:* Windows 7 と Vista 用の現行標準オーディオドライバです。オーディオハードウェアとドライバの性能によってパフォーマンスが異なります。
- **Device:** このメニューでは、上記で選択したドライバアーキテクチャに適合する、接続されている全てのオーディオインターフェイスがリストアップされます。再生に使用するオーディオインターフェイスを選択してください。Windows では [ASIO Config](#) ボタンで選択したオーディオインターフェイスのコントロールパネルを開きます。このボタンは Mac OS X にはありません。
- **Sample rate:** このドロップ・ダウン・メニューでは、アプリケーションが使用するプレイバック・サンプル・レート全体を設定することができます。一般的に、音楽では 44100 Hz、映画制作には 48000 Hz を用います。
- **Latency:** サンプルのオーディオ・プレイバック・バッファ・サイズを表示します。数値が小さければ、キーを押してから流れるサウンドの間のディレイ（これはレイテンシーと呼ばれます）が短くなる反面、いくつかのボイスを同時に鳴らすと、途切れたり、つかえたりすることがあります。逆に、この数値を大きくすると、レイテンシーが大きくなりますが、プレイバックがより安定します。

6.2 レイテンシーの最適化

[レイテンシー](#)を設定することで再生バッファのサイズを設定します。システム上の最適なバッファ・サイズを見つけるには、まず Latency を 256 から 512 の間の中間値に設定し、作業を進めていく中で、だんだんとこの値を減らしていくとよいでしょう。

Mac OS X では 専用 [Latency](#) スライダーでバッファサイズを設定します。Windows では、ASIO ドライバを使用する場合はオーディオインターフェイスの ASIO パネルでバッファサイズを設定します。ASIO パネルは Audio and MIDI Settings… ダイアログの [ASIO Config](#) ボタンを使用して開きます。その他の Windows ドライバにはレイテンシーを調節する機能がない場合があります。その場合は、オーディオドライバとオーディオインターフェイスをアップグレードすることを推奨します。

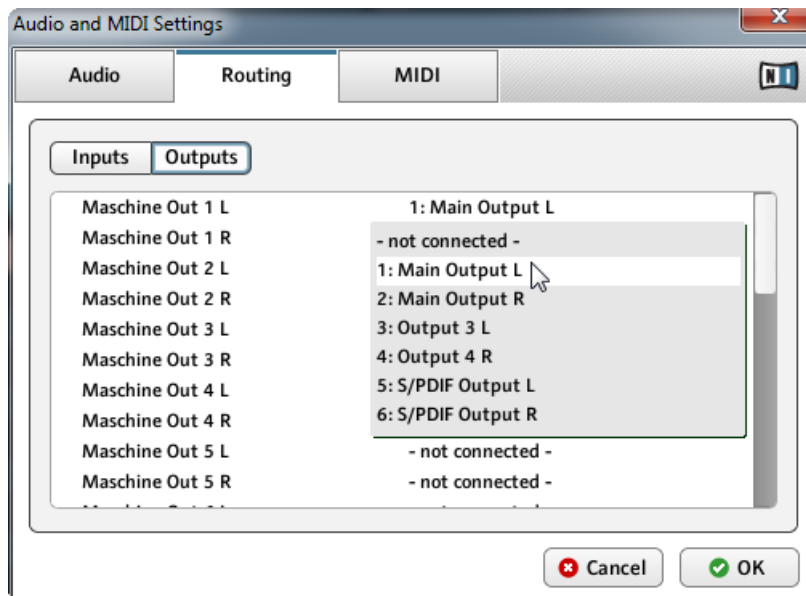
低レイテンシードライバを使用しているもある一定のバッファサイズより下回ることができず、なおかつサウンドを途切れさせたくない場合は、いくつかのドライバは他のものよりも効率的な低レベルの接続が可能ですので、オーディオハードウェアのドキュメントを参照して、他のドライバで接続することができないかどうか確認してください。

6.3 ルーティングオーディオインプットとアウトプット

Audio and MIDI Settings ダイアログの [Routing](#) ページでソフトウェアのオーディオアウトプットを実際のオーディオインターフェイスのアウトプットにマッピングすることができます。



使用しているソフトウェアがユーザーインターフェイスのアウトプットレベルを表示しているのにオーディオインターフェイスから音声を確認できない場合は、[Routing](#) ページで正しくアウトプットをアサインしているか確認してください。



オーディオと MIDI 設定ダイアログの Routing ページです。

MASCHINE で外部シグナルを使用することも可能です。これらのシグナルをサンプル、または MASCHINE モジュールにシグナルをルーティングし、エフェクトを追加することも可能です。外部音声をこれらのアプリケーションに送信するには、オーディオインターフェイスのオーディオインプットを設定する必要があります。

- ▶ インプットルーティングを変更するには、[Routing](#) ページの左上にある [Inputs](#) ボタンをクリックします。



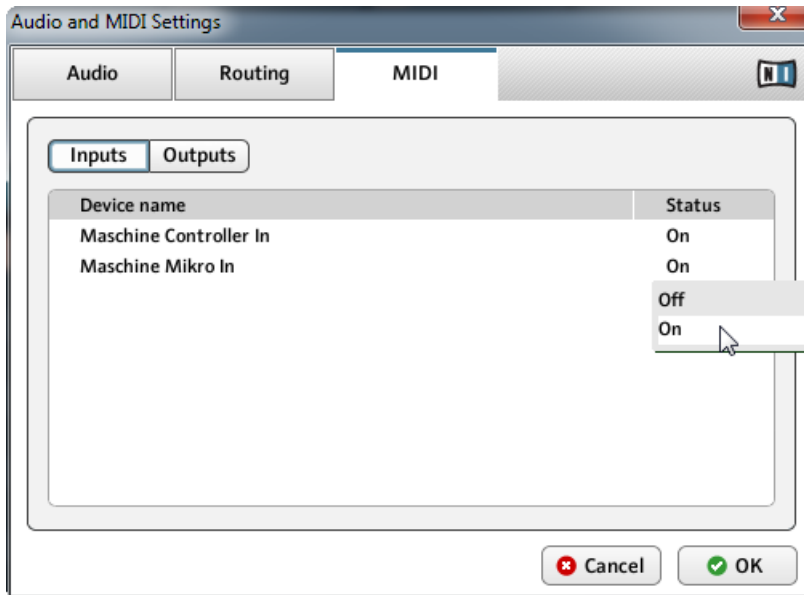
外部音声のサンプリングと、外部音声にエフェクトを適用する方法に関しては MASCHINE / MASCHINE MIKRO マニュアルを参照してください。

6.4 MIDI 接続設定

Audio and MIDI Settings ダイアログの [MIDI](#) ページではシステム内の全 MIDI インプットとアウトプットのリストを表示します。これらはコンピュータへ接続されている物理的な MIDI インターフェイスのポートですが、この他にも、アプリケーション間の MIDI 使用を円滑にするため、ドライバや他のアプリケーションにより提供されている仮想的な MIDI インターフェイスのポートがあります。

外部 MIDI データによってアプリケーションを操作するためには、[MIDI](#) ページのインプットのリストに現れる 1 つまたは複数のポートを有効にする必要があります。

1. [Inputs](#) ボタンがハイライト表示になっていることを確認し、リスト上で MIDI インプットとして使用したいと思っているポートを選択してください。
2. 右側の [Status](#) フィールドが [Off](#) になっている状態からポートを起動する場合は、[Off](#) をクリックして [On](#) と表示させます。



オーディオと MIDI 設定ダイアログの MIDI ページです。

MASCHINE で MIDI を外部 MIDI ポートまたは他のアプリケーションに送信することができます。

- ▶ MIDI ページの左上隅にある **Outputs** ボタンをクリックし、必要であればこのセクションで上述したようにポートを起動します。

7 プラグインの操作

MASCHINE には VST (Virtual Studio Technology)、AU (Audio Units、RTAS (Real-Time Audio Suite) の各プラグインがあります。MASCHINE プラグインはホスト内のプラグインリスト上に表示され、ロードすることが可能となります。バーチャルインストゥルメント、エフェクトプラグインのロード方法は各ホストで異なります。

バーチャルインストゥルメント、エフェクトプラグインのロード方法、各プラグインのホスト上での互換性に関しては使用しているホストアプリケーションの資料を参照してください。

8 その他の資料とサポートリソース

8.1 各資料について

MASCHINE に付属する各資料は以下となっています。

- **Getting Started** には MASCHINE の基本操作方法を記載しています。このセットアップガイド (Setup Guide) を読み終えたら、この資料に目を通すと良いでしょう。
- **MASCHINE / MASCHINE MIKRO** マニュアルでは MASCHINE ソフトウェア各機能の詳細と各追加情報 (問題解決へのヒント、各仕様情報等) を記載しています。
- **Hardware Control Reference** (ハードウェアコントロールリファレンス) では、MASCHINE コントローラーを用いた各オプションの使用方法、または多くのキーボードショートカットを紹介しています。これらの各資料はソフトウェアのインストール時に作成されるドキュメント専用フォルダに収納されます。これらの資料は MASCHINE ソフトウェアの [Help](#) メニューからアクセスすることも可能です。



Windows ユーザーは PDF 資料を参照する為に、無料の Adobe Reader ソフトウェア (www.adobe.com) または同等のアプリケーションをダウンロードする必要がある場合があります。

8.2 ビデオ・チュートリアル

各チュートリアルビデオは以下の当社ウェブ url (<http://www.native-instruments.com/#/en/media-center/>) で閲覧することができます。

これらのインストールの内容に沿って該当するアプリケーションを起動し、解説内容を実際に行ってみることを推奨します。

8.3 ナレッジベース / リードミー / オンラインサポート

- ▶ サービスセンター (Service Center) アプリケーションを起動して右上隅にあるサポート ([Support](#)) ボタンをクリックします。ここには Native Instruments オンラインナレッジベース (**Online Knowledge Base**) と オンラインサポートフォーム (**Online Support Form**) へのダイレクトリンクを用意しています。

サポートフォームで使用しているハードウェア、ソフトウェアについてお答えください。ここでの情報は今後サポートチームが問題発生時に効率よく対応する為の資料となります。

Native Instruments サポートチームとコンタクトをとる際、ハードウェア、オペレーションシステム、使用しているソフトウェアのバージョン情報、問題の詳細をチームに伝えることが問題を解決する為に非常に有効となります。情報として提示すべき情報は以下となっています。

- 問題に到達するまでの操作手順
- 問題解決するために自分で試した解決策
- ハードウェアを含む使用しているセットアップの内容
- 使用しているコンピュータの機種を含む正確な情報



常に最新バージョンのソフトウェアの Readme.txt 情報を使用してください。そうすることで、マニュアル執筆の時点では明記されていない最新の情報を確認することができます。

8.4 フォーラム

Native Instruments ユーザーフォーラム(<http://www.native-instruments.com/forum>) では他のユーザーやフォーラムの中心人物となるフォーラムの専門家と製品について直接会話することが可能です。

8.5 アップデート

問題に直面した場合は、まずソフトウェアのアップデートを確認、ダウンロードし、インストールすることをお勧めします。アップデートは頻繁に起きる問題を解決、ソフトを向上させる為に定期的に行います。ソフトウェアのバージョン番号は Native Instruments 各アプリケーションの About ダイアログで表示可能です。このダイアログはユーザーインターフェイスの右上隅の NI ロゴをクリックしても開くことができます。更にインストールしてある全 Native Instruments アプリケーションのバージョン番号はサービスセンターの [製品一覧](#) ページでも確認することができます。アップデートはサービスセンターの [アップデート](#) ページ、または 以下当社ウェブサイトから行うことも可能です。 <http://www.native-instruments.com/updates>

9 製品の返品

どんな製品でも返品を行う際は必ず事前にテクニカル・サポート・チームへご連絡ください。製品を返却する場合はテクニカルサポートチームが RA (Return Authorization、返品確認) をし、迅速に対応します。

NATIVE INSTRUMENTS テクニカルサポートへのコンタクト

<http://www.native-instruments.com/support>